



“今”をお届けする情報ページ やまなし県政ニュース

NEWS 「よしもと山梨動画応援隊」結成！県の魅力を動画で発信



「よしもと山梨動画応援隊」を結成した吉本興業所属の芸人たち



毎週
金曜夕方に
新作動画を
公開!!



県の公式YouTubeチャンネル「山梨チャンネル」では、本県の魅力をPRする動画を制作・配信しています。今年度は、県内外の幅広い世代に県の魅力や情報を楽しみながら知っていただけるよう、吉本興業所属で本県にゆかりのあるお笑い芸人を中心に、「よしもと山梨動画応援隊」を結成しました。隊長には、人気コンビ「ニューヨーク」（嶋佐和也さんが富士吉田市出身）が就任。ほかにも「ダンビラムーチョ」や「世間知らズ」「ナイチンゲールダンス」など、山梨ゆかりの芸人が動画に出演します。

4月30日に県庁で行った発足会見では、隊長の二人がメッセージ動画で登場した後「ロバート」の馬場裕之さんらに任命状が授与されました。馬場さんは「山梨のさまざまな美味しい食材を使ったレシピ動画を作ります。僕の動画は笑いなしでいきますよ」などと話し、会場の笑いを誘いました。

NEWS 地球温暖化の抑制に貢献する農産物などを認証します



認証を受けた農産物には専用のロゴマークが使用できる

県では、モモやブドウなどの果樹栽培で発生する^{せんてい}剪定枝を炭化するなどして土壌中に貯留し、大気中への二酸化炭素放出を低減する取り組み「4パーミル・イニシアチブ」に、全国に先駆けて取り組んでいます。

これに賛同し行われる、炭素貯留効果があると県が認める取り組みや、生産された農産物などを認証する「やまなし4パーミル・イニシアチブ農産物等認証制度」を創設しました。全国をリードしながら脱炭素社会の実現に貢献するこの制度は、本県の農業の新たなブランド価値を高めるものとして期待されます。

NEWS 全国初の快挙!日本酒とワイン、2つの地理的表示「山梨」指定



GIの認定証を披露する出席者ら

※南アルプス山麓、八ヶ岳山麓、秩父山麓、富士北麓、富士・御坂及び御坂北麓の6水系

地域ブランドを国が保護する地理的表示（GI）制度で、平成25年のワインに続き、日本酒も「山梨」が指定されました。この制度では高い生産基準が求められるため、同一県が2つの酒類で指定を受けたのは、全国初の快挙です。

日本酒の「山梨」の特徴的な基準は、原料の水の採取地を6水系※に限定しており、これも全国で初めてのこと。名水の地、山梨ならではのこだわりです。山梨の日本酒は、柔らかく、透明感のある清らかな味わいを有しており、塩気を感じさせる料理と相性が良く、味わい深く楽しむことができます。国のお墨付き“GI YAMANASHI”のマークが、基準をクリアしたお酒の目印です。

指定を報告する会見で、県酒造協同組合の北原兵庫理事長は「山梨のみならず国内外に発信していきたい」と今後の決意を述べました。また、会見に同席した長崎知事は「本県の豊かな自然や地域資源を、酒蔵の高い技術で生かした努力が認められことを誇りに思う」と喜びを伝えました。



オープニングセレモニーであいさつする長崎知事



「きんぎょ まふ」制作:田中 千晶さん



「無題(未完成)」制作:小林 浩太郎さん



「夕暮れ」制作:横山 岳史さん

県では、障害のある方が制作した文化芸術作品を展示する「いえなか美術館」を、令和4年3月までの間、県内各地で開催しています。コロナ禍で制限される作品発表の機会を提供し、県民に、身近な場所で作品に触れてもらえるように企画しました。

作品は、県民の皆さんが利用する地域のカフェ、公共施設や企業のロビーなどに展示され、その鑑賞を通じて、障害と障害のある方への理解と、障害のある方の社会参加を促進することを目指しています。

5月には、県庁本館ロビーでオープニングセレモニーを行いました。出席した作者の一人、田中千晶さんは「展覧会への出品は制作の目標になるので、こうした機会があることは、とてもうれしい」と話されました。

魅力的で豊かな表現にあふれた作品が楽しめますので、ぜひお近くの会場でご鑑賞ください。

【展示期間】毎月2週間程度

【作品数】1カ所につき5～20点

【展示会場】

	カフェなど	公共施設	地域
5月		県庁	甲府
6月	葡萄屋kofuパークcafe(カフェ)	甲州市役所	峡東
7月	仁田平マルシェ(カフェ)		峡北
8月	コンプリオ(レストラン)	富士北麓地域の市役所など	富士・東部
9月	アテムク亭(パン屋)	峡南地域の町役場など	峡南
10月		県立図書館など	甲府
11月	ハーベストテラス(レストラン)		峡北
12月	osaji(スパイスカレー店)	峡中地域の市役所など	峡中
1月	トレートール(カフェ)		峡中
2月	蛭雪寮(大村智先生の生家)		峡北
3月	tobira cafe(カフェ)	東部地域の市役所など	富士・東部

※一部の会場では、来場者と作家が交流できる機会や、作品をもとに制作したポストカードなどの販売コーナーを設けます。

※展示会場は変更となる可能性があります。詳しい会場や日程は県ホームページをご確認ください。

山梨 いえなか美術館



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

富士山静岡空港から山梨の魅力発信



施設内には両県の誇る逸品が並ぶ



完成した施設を見学する両県知事

富士山静岡空港（静岡県牧之原市）の利用者に、山梨県と静岡県のさまざまな魅力に触れていただくよう、両県が協働して整備した「ふじのくに 空のしおりー3776ー」がオープンしました。

施設内には、両県の特産品や産業などを紹介するパネル、試飲を楽しむことができる非接触型のワイン・日本酒サーバーなどが設置され、施設名の「空のしおり」には、お気に入りの本の大切なページにしおりを挟むように、気になる展示品の前に足を止め、さまざまな物や情報に触れてほしいという願いが込められています。

4月に静岡空港で開催された記念式典に出席した長崎知事は「山梨と静岡の交流を象徴する施設ができ大変うれしい。空港を訪れた国内外の多くの皆さんに、両県の観光地などに足を運んでいただくきっかけとなる施設になることを楽しみにしている」と話し、静岡県の川勝知事とともにオープンを祝いました。

山梨県と静岡県のコラボデザイン缶バッジがつくる交流



会場で展示された缶バッジの原画



販売員は、缶バッジを着用して接客

静岡県吉田町立吉田中学校の2年生がデザインした缶バッジが、山梨県に贈られました。これは、1年生の時に美術の授業で「静岡県と山梨県のつながりが活性化しよう、コラボデザイン作品をつくり、発信しよう」というテーマで、生徒同士が特産物や名所といった両県の魅力について情報を出し合いながら描いた絵を、缶バッジにして贈ってくれたものです。

静岡県と山梨県がお互いの特産品を購入し合う「バイ・ふじのくに」の取り組みの一環として、5月に甲府の岡島百貨店で行われた静岡フェアで、缶バッジの原画がお披露目され、缶バッジを販売員に身に付けてもらいました。

吉田中学校の生徒さんからいただいた気持ちに対して、山梨県からも何らかの形でお返しするとともに、これを機に両県の教育、文化面、さらには心の交流がより深められるような取り組みを展開していきます。



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。